

はなやか関西～文化首都年～2011「茶の文化」実行委員会が実施する取組

”非公開茶室の見学”募集要領

東山（金戒光明寺西翁院＋曼殊院＋南禅寺金地院）コース

実施日時：平成23年10月5日（水）10:30～16:15

1. 案内解説者

中村 昌生氏（京都工芸繊維大学名誉教授・（財）京都伝統建築技術協会理事長・茶の湯文化学会参与）

プロフィール

1927年 愛知県生まれ

現在、京都工芸繊維大学名誉教授、福井工業大学名誉教授。多年にわたり日本建築の伝統追究のため茶室・数寄屋の研究に専念。

この間日本建築学会賞、日本芸術院賞など受賞。

伝統建築技術の継承発展のため、同志と財団法人京都伝統建築技術協会を設立し、現在理事長をつとめる。

多数の著書の中で「図説茶室の歴史 基礎がわかるQ&A」「数寄屋と五十年」（淡交社刊）などが入手しやすい。

作品集に「数寄の空間」（淡交社刊）等。

補助

岩崎 正彌氏（実行委員会アドバイザー、皇學館大学現代日本社会学部伝統継承文化創造コース准教授・茶の湯文化学会理事）

2. 見学コース及び募集定員

東山（金戒光明寺西翁院＋曼殊院＋南禅寺金地院）コース（別紙1参照）

定員：30名（18歳以上の方を対象とします。応募者多数の場合は抽選とし、当選者の方へのみ通知します。）

3. 日程等スケジュール

平成23年10月5日（水）

10:30 黒谷・金戒光明寺 高麗門に集合・受付

（参加費用徴収・資料及びアンケート配付）

実行委員長挨拶・解説案内者の紹介（10分）

10:50～金戒光明寺西翁院 茶室澱看席（重要文化財）（90分）

西翁院は黒谷（金戒光明寺）山内の塔頭。

藤村源兵衛（十二屋）が天正年間に建立。現本堂は当時のものと伝えられる。

十二屋は藤堂家出入りの呉服商であった。千利休の孫、千宗旦（1578～1658年）四天王の一人といわれる藤村庸軒の養祖父に当たる。庸軒が本堂の西北に貞享2～3年（1685～1686年）頃に造立した茶室であり、はるか淀・山崎方面を遠望できる景勝の地であることから、「澱看席」といわれている。

三畳敷で宗貞 囲 と呼ばれる珍しい構成をそなえ、侘茶の雰囲気に溢れた茶室である。

12:20～移動（タクシー）（30分）

12:50～曼殊院 茶室八窓軒（重要文化財）（60分）

曼殊院は竹 内跡と呼ばれ、京都御所を中心とした公家町にあったが、明暦2

年（1656年）良尚りょうしょうほう法親王の時、一乗寺の現地に移った。

大書院・小書院（重要文化財）は江戸初期の数寄屋造りの名作として知られる。小書院の背後の茶室が八窓軒で、横に長い三疊台目で、八つの窓をそなえる。中柱には桜皮付丸太を立て、床の天井が高い。

良尚法親王は桂離宮を建てた八条宮二代智忠親王の弟に当る。

庭園も枯山水の名作である。

13:50～移動（徒歩）（曼殊院門跡・弁天堂境内）

13:55～昼食「弁天茶屋」門跡そばセット（40分）

（アレルギーのある方へは、別メニューをご用意します）

14:35～移動（タクシー）（35分）

15:10～南禅寺金地院 茶室八窓席（重要文化財）（60分）

南禅寺の塔頭金地院は、黒衣の宰相として知られる以心崇伝いしんすうでんによって建立された。

崇伝こぼりえんしゅうが小堀遠州に依頼してつくられた金地院本堂（方丈）前の庭と茶室が現存する。茶室は方丈背後の小書院に付属して建てられた三疊台目で、勝手と木屋が付属する。縁から躡口を入る形式、床と点前座（台目畳）を並べ、窓が大きくあけられ、客座と書院が直接つながれているなど、遠州らしい作風がよく残されている。

本堂（重要文化財）は伏見城より移したという説もあるが、江戸初期に建立された。

16:10 モニタリングのためのアンケート用紙回収（ご協力をお願いします）

16:15 解散

4. 応募について

(1) 応募方法

別紙「応募用紙」に①氏名、②年齢、③職業等、④住所、⑤電話番号、FAX、E-mailなど、⑥当日の連絡先として携帯電話番号及び携帯メールアドレス、⑦応募の動機及び目的などを明記し、次のいずれかの方法によりご応募ください。

応募1件あたり2名様まで連名で申し込むことができます。その際は、お連れの方についても、上記①～⑥の事項を記載してください。

応募用紙は、近畿圏広域地方計画ホームページよりダウンロードできますのでご利用ください。なお、郵送による応募の場合は、上記①～⑥の事項が記載されていれば、有効として取り扱います。

URL：http://www.kkr.mlit.go.jp/kokudokeikaku/program/category_plan.html

お申し込みいただいた個人情報適切に管理し、本見学会以外では使用いたしません。

1) 郵送

次の送付先に、「はなやか関西「茶の文化」非公開茶室の見学募集」と赤字で明記して、お送りください。

事務局：近畿圏広域地方計画推進室（近畿地方整備局建政部計画管理課）

〒540-8586 大阪府中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎1号館

TEL：06 -6942 -1056（直通）

2) 電子メール

メールアドレス chanobunka@kkr.mlit.go.jp

事務局：近畿圏広域地方計画推進室（近畿地方整備局建政部計画管理課）

※ 題名を、「はなやか関西「茶の文化」非公開茶室の見学募集」として、送付

してください。

[メール応募のご注意]

- ①メールの容量は、4MB未満（添付ファイル含む）としてください。
- ②. zip、. exeの拡張子のファイル及びフリーメールは、事務局の情報セキュリティー上、お受けできません。別形式でご送付ください。

3) F A X

別紙「応募用紙」に記載の上、次の送付先にお送りください。

事務局：近畿圏広域地方計画推進室（近畿地方整備局建政部計画管理課）

〒540-8586 大阪府中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎 1 号館

F A X : 06 -6942 -3912

(2) 参加費用

お一人あたり実費相当の**10,000円**を当日、受付時に徴収します。

※参加費には、見学地の拝観料・講師謝金・昼食代・タクシーでの移動料金を含みます。

(3) 茶室見学にあたっての注意事項

次の茶室見学にあたっての注意事項を厳守してください。厳守できない場合は、見学の途中であっても見学をお断りする場合があります。

- ① 大きな荷物（旅行鞆）などのお持込はご遠慮ください（あらかじめ駅やホテルなどにお預けください）。
- ② 寺内での写真の撮影や画像の録画などはご遠慮ください。
- ③ 服装については、茶室の見学にふさわしい、端正で清楚な身なりでご参加ください。また、替えの白い靴下（ソックス）または白い足袋をご用意ください。
- ④ 茶室内の物に手を触れないようにしてください。
- ⑤ 露地は、苔や芝などを踏まないようにし、必ず飛び石の上を歩くように心がけてください。

(4) 当日の主催者側判断による中止について

雨天時でも基本的に開催しますが、荒天やその他の災害等により、中止する場合があります。中止の判断は当日、朝7時に事務局にて行います。

当日、事務局が中止と判断した場合、当日の7時以降に申込時登録のメールアドレスに通知させていただきます。

(5) スケジュール

募集開始	平成23年8月31日（水）
募集締め切り	<u>平成23年9月14日（水）（必着）</u>
当選者への抽選結果のお知らせ	<u>平成23年9月16日（金）中に通知・連絡</u>

5. 当選者への連絡について

当選者へのみ事務局から通知・連絡します。（落選者には連絡致しません）

6. 問い合わせ先

はなやか関西～文化首都年～2011「茶の文化」実行委員会事務局：

近畿圏広域地方計画推進室（近畿地方整備局建政部計画管理課）

「はなやか関西『茶の文化』非公開茶室の見学募集」担当：矢田・一瀬

〒540-8586 大阪府中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎 1 号館

TEL : 06 -6942 -1056 （直通）

「はなやか関西～文化首都年～」の目的

「はなやか関西～文化首都年～」は、近畿圏広域地方計画(注1)の主要プロジェクト「文化首都圏プロジェクト」(注2)を推進する取組です。

関西は日本の文化の源泉であり、今も「本物」の文化を継承・発展させている地域です。

「はなやか関西～文化首都年～」では、こうした関西が誇る「本物」を活かした取組を「テーマ」で束ね、国内外へ発信していきます。「関西ブランド」の創造により関西の価値や魅力を高め、関西一丸で、日本を先導する「文化首都圏・関西」の形成を目指します。

平成23年度のテーマは「茶の文化」です。

茶は、日常の飲物として私たち日本人に広く愛されているとともに、「茶道」をはじめ関西をルーツとする「茶の湯文化」が起点となり、わが国独特のもてなしの文化が確立されてきました。

茶道具、茶室、庭園、菓子など関西生まれの茶の文化は、海外においても高い評価を得ており、関西は日本を代表する「茶の文化」の中心といえます。

注1： 近畿圏広域地方計画は、人口減少・高齢化時代や国際競争が激化する時代にあっても自立的に発展できる「知と文化を誇り力強く躍動する関西」を目指して、近畿圏（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）を対象に作成された概ね10ヶ年の計画です。（国土形成計画法第9条の規定に基づき、近畿圏広域地方計画協議会における協議等を経て、平成21年8月4日に決定。）

注2： 「文化首都圏プロジェクト」は、近畿圏広域地方計画の主要プロジェクトの第1に位置づけられており、多様で厚みのある文化の集積を活かして、我が国を代表し牽引する役割を担う圏域「文化首都圏」の形成を図るといえるものです。「文化首都圏プロジェクト」の取組の一つとして、関西の本物の資源「ほんまもん」を活かした多様な主体による地域発意の取組を選定・支援し、国内外へ戦略的に情報発信を行う「関西ブランド」の創造が掲げられました。

- 詳しくはホームページ **はなやか関西～文化首都年～**

http://www.kkr.mlit.go.jp/kokudokeikaku/program/category_plan.html



文化首都年2011

検索



★ 東山コース全体図 ★

金戒光明寺西翁院「瀨看席」→曼殊院「八窓軒」→南禅寺金地院「八窓席」



②

①

③

はなやか関西～文化首都年～2011「茶の文化」実行委員会が実施する取組

”非公開茶室の見学” 応募用紙

東山（金戒光明寺西翁院＋曼殊院＋南禅寺金地院）コース

実施日時：平成23年10月5日（水）10:30～16:15

「非公開茶室の見学」 応募用紙	
①氏名	
②年齢	
③職業等	
④住所	〒
⑤電話番号 FAX E-mailなど	@
⑥携帯電話番号 携帯メールアドレス	@
⑦応募の動機及び目的など	

お連れの方があられる場合

①氏名	
②年齢	
③職業等	
④住所	〒
⑤電話番号 FAX E-mailなど	@
⑥携帯電話番号 携帯メールアドレス	@

お申し込み方法

「募集要領」に基づき郵送・電子メール・FAXのいずれかにより、「応募用紙」に記載の上、ご応募ください。

●電子メール メールアドレス chanobunka@kkr.mlit.go.jp

●郵送

事務局：近畿圏広域地方計画推進室

（近畿地方整備局建政部計画管理課）

〒540-8586

大阪市中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎1号館

TEL：06-6942-1056（直通）

●FAX 06-6942-3912